



ひすい

系魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 10月号 (No. 11)

令和3年10月8日発行



文化祭に向けて!

= オリエンテーション =



秋の深まりを感じるこの頃です。学校では10月16日(土)の文化祭に向けて、子どもたちは作品作りや発表会の練習を頑張っています。今年も系魚川小学校とひすいの里総合学校の合同文化祭(作品展・合同音楽会)ではなく、それぞれの学校で実施する形態をとります。音楽会での新型コロナウイルスの感染防止という意味合いもあるのですが、系魚川小学校が創立150周年の記念式典を開催する関係からです。ひすい作品展は、系魚川小学校の文化祭の10月25日(月)まで、ひすいホールに展示しますので作品交流はできます。

10月1日(木)の月初めの全校朝会では、文化祭のオリエンテーションとして、教務主任の七澤先生から子どもたちに目標やスケジュール、発表内容等についての話がありました。また、昨年度の「ひすい発表会」の視聴もしました。

子どもたちはスライドや動画を見ながら、文化祭への見通しやイメージをもつことができました。





子どもたちの家庭での過ごし方



子どもたちの学校生活については、担任との引き継ぎや連絡帳、各種の便りでご理解をいただいていると思います。しかし、他の家庭の様子を知る機会はなかなかないでしょう。現在、保護者の皆さん同士で語り合い、情報交換をする機会もなかなか設けにくい状況にあります。

そこで、他の特別支援学校から届いたPTA便りの中に「我が家の様子（小）」「教えて！休日の過ごし方（中）」記事がありましたので、紹介させていただきます。

《我が家の様子》

小二保護者

息子はプラレールが大好きです。学校から帰ってくるとすぐにプラレールを出し、自分で試行錯誤しながらレールを組み合わせて完成させ、新幹線や特急電車の車両を走らせ、眺めて楽しんでいきます。自分で完成させたレールを片付けるときは嫌がり怒ることもありますが、自分で全部片付けられるように頑張っています。

自転車に乗って近くの公園まで行くのも好きです。補助輪付き自転車のブレーキを上手に使えるようになり、車が来ていないか確認しながら公園まで力強くペダルを漕いで行きます。滑り台がお気に入り、公園に着くと何度も繰り返し滑ってから帰ってきます。

家では一人で遊ぶことが多いのでこれからは息子と一緒に楽しめる遊びや時間を増やして過ごしていきたいと思っています。



《我が家の様子》

小四保護者

最近の息子は、姉と過ごすことが多くなりました。ふと見ると姉の隣でお気に入りのおもちゃを出して遊んでいたりと、色塗りを始めたりします。芸術的に多色を使い、集中して紙いっばい塗りつぶします。

色塗りに満足すると「お掃除！お手伝い！」と進んで掃除機を持ってきて、手伝いをしてくれます。家族の中で一番のきれい好きです。自分で遊んだおもちゃは、元の位置に片付けます。急なお出掛けになったときに「片付けは後にしよう。」と声掛けしても、「嫌だ！」と言って一つも残さず元の場所に片付けます。

また、少し我慢をすることができるようになりました。大好きなご飯がもつと食べたくても「おしまい。」と言われると残っているおかずで我慢しています。息子の言葉、表情、感情が豊かになりました。一つ一つの行動や言動が新鮮で、家族がいつも笑いに包まれています。



《教えて！休日の過ごし方》

中一保護者

息子は、好きなアニメのDVDを観たりアニメの歌に合わせてダンスをしたりしています。それが終わると鬼滅の刃の漫画を読んで、ゆっくりと過ごしています。夕方は、私と運動不足にならないように家のすぐ裏に広がる田んぼ道を一時間、散歩したりランニングをしたりしています。散歩のときは、学校の出来事や寄宿舎の友達のことを笑顔で話してくれます。楽しく過ごしているんだなあと思えます。

祖父母が農業をやっているのでも田植の時期は、祖父に教わりながら苗箱に土入れ作業を手伝っています。また、風呂が大好きな息子は、時々風呂掃除をしてくれます。排水溝の所も丁寧にやってくれるので助かっています。これも将来、息子の自立に向けてやらせています。頑張っただけで褒めてもらいたいと思います。

温泉が大好きなのでコロナが終息したら、家族で行けるのを楽しみにしています。



※紙面の都合で体裁を変更してあります。また、掲載写真や執筆者名等は、割愛させていただきました。